



2019年4月9日

Salone del Mobile.Milano | ミラノサローネ国際家具見本市 開幕！ 万能天才レオナルドに捧げる新しい物語と展示

第58回 Salone del Mobile.Milano | ミラノサローネ国際家具見本市（以下、ミラノサローネ）はレオナルドの「インジェヌイティ（創意工夫）」に敬意を表し開幕します。昨年発表されたミラノサローネの「マニフェスト」に「インジェヌイティ（創意工夫）」が新たに加わり、新しく発表される展示は今日と明日の家具のフォルム、素材、そして哲学を語ります。4月9日（火）から14日（日）の9:30～18:30までロー・フェイラミラノにて開催。土日は一般開放します。

創意工夫、ビジョン、イノベーション、持続可能な卓越性、そして感動。まさにこれらの言葉が共通するミラノサローネは、ミラノ市と関係機関が、家具のクリエイティブでプロダクティブなシステムと深く繋がり、常によりグローバルで包括的な見本市であると言えます。第58版は、実験と探求の使命が果たされた、新しいデザインとプロジェクトの世界と出逢える絶好のチャンスの場です。

ミラノサローネのプレジデント、クラウドディオ・ルーティ氏のコメント：

「58回目を迎えたサローネ・デル・モービレは、私たちの生活とデザインシステム全体にポジティブに反映する関係やビジネスチャンス、創造を生みだしながら、このミラノが世界の中心となってグローバルイベントとしての地位を確立しています。そのために、チームワークから生まれるアイデアに投資し続けています。すべての関係者は、企業と、ミラノと、国のために共通のプロジェクトに関わっていることを意識しています。更に関係機関との連携を強化し、価値を生み出すプロセスに積極的に取り組み、常に新しい熱意を呼び起こさねばなりません。そして新たにもたらされた息吹と共により開放的で包括的な生き生きとしたイベントでなくてはなりません。」

2019年、マニフェストは新しいテーマを掲げます。「インジェヌイティ（創意工夫）」、つまりそれは創造の原則としての知性、才能の感覚、考え実行する能力を意味します。そしてサローネに代表される企業の特徴的な資質、企業と協働し常に成長し続けるデザイナーたち、受け継がれた製造システムの伝統のルーツを指します。



ミラノサローネ主催者 **FLA Eventi** 社 エマヌエレ・オルジーニ社長のコメント

イタリア企業は、家具製造と国全体のシステムにとって一年で最も重要なイベントに、認識と熱意を持って直面し、市場で生き残るための更なる強固な基盤を築いています。また、木工家具部門のサプライチェーンは他部門を浸食することでの相乗効果で現実的なシステムを作り上げています。当見本市の出展企業は文化的、社会的価値を持った優れた製品を生産しています。私たちの住空間を豊かにする美しさ、快適さ、革新性、持続可能性は、広い意味で社会全体を侵食し若者やデザインの世界を刺激し、その影響は60年近い歴史を持ち巨大イベントと化した当見本市にも及んでいます。文化、デザイン、そして産業システムは国際的な基準となり、また成長するため、FLA（イタリア家具工業連盟）は特に見本市開催中に関係機関とより強く結びつき、戦略的分野である循環経済や仕事、フォーメーションへの投資が不可欠です。」

43カ国から集まる**2,400以上の出展者（550人のサローネサテリテ出展デザイナーを含む）**がこのイベントの主演です。

【サローネ国際家具見本市とサローネ国際インテリア小物見本市】

現代の社会構造の変化に適応しうる革新的な製品が主人公です。家具市場の急速な変化に対応し、クライアントのニーズに応える美しく豊富な製品を提供します。近年進化し急速に人気が高まるラグジュアリー分野におけるニーズに応え、現代に合わせて再解釈された「**xLux**：エクストラックス」。また、「クラシック」と「デザイン」は**ホール4**を共有し、それぞれの卓越性、技術、創造性を統合し、ロシアやアジア市場はもとより、あらゆるマーケットのニーズに効果的に応えます。

【Workplace3.0】

2019年はオフィス見本市の **Workplace3.0** が新しく生まれ変わります。サローネ国際小物サローネ国際小物見本市と同様に、**Salone Internazionale del Mobile / サローネ国際家具見本市のホール内に混在**します。新しい展示方法は職場環境の進化をより良く表現します。専門的な要素と個人的な要素が共存し浸透する**ハイブリッドな空間**です。**新しい展示スタイルの Workplace3.0** は、仕事場が**日々の様々な活動と共存し侵食し合い**、柔軟で透過性のあるダイナミックな空間を提案します。



【S.Project】

今年、初めて登場する **S.Project** は、新製品とインテリアデザインのストラテジーをより深く解釈するための**新しい展示スタイル**です。「**マルチセクター**」、「**相乗効果**」、「**クオリティ**」がキーワードの**多面的な空間**です。

【エウロルーチェ】

第30回を迎えたエウロルーチェは、統合されたスマートな照明を提供します。照明は、空間を照らし、感じ、暮らしを提供します。技術開発、制御システムの進化、光源の小型化は新しい可能性を切り開きます。今年のキーワードは、**実験と技術革新、持続可能と美の追求**です。

【サローネサテリテ】

第22回サローネサテリテは、世界中から集まった**550人の才能あるデザイナー**が“**FOOD as a DESIGN OBJECT**”をテーマに掲げ、創造性と人々のニーズが進化し続ける食もプロダクトと捉え取り組みます。好奇心に満ちた伝統および非伝統、職人技、工業の研究とともに、慎重なプロジェクトが求められます。若いデザイナーが前衛的なビジョン、アイデア、プロジェクト、独創性を披露します。10年目を迎える**サローネサテリテ・アワード**は、**デザイン界の第一線で活躍する国際的に著名な審査委員会**で構成され、**パオラ・アントネッリ**（MoMAの建築とデザインのシニアキュレーター、開催中の第22回 トリエナーレ・ディ・ミラノ「Broken Nature」のキュレーター）が主宰し上位3位を選びます。

レオナルド・ダ・ヴィンチを讃える今年、**ミラノサローネ**は、ミラノが誇る万能天才が残した文化と感動に捧げるべく、レオナルドとミラノの深い結びつきを再認識しながら、**2つの大掛かりなインスタレーション**をミラノ市内とフィエラ会場内で開催します。

【AQUA | アクア レオナルドのウォータービジョン】

コンカ・デッラ・インコロナータ内において、最先端技術を駆使した「**アクア レオナルドのウォータービジョン**」を開催します。巨匠レオナルドがアクア（水）に果敢に取り組んだ功績と共に、ミラノの街に再び運河が戻る未来図を披露します。**マルコ・バリッチ**がサローネのために考案した没入型インスタレーションは、ミラノの街とそこに住む人たちのより良い未来を提案し訪れる者に驚きと感動を与えます。



【DE-SIGNO | デ-シーニョ レオナルドが残したイタリアデザイン文化】

レオナルドとルドヴィコ・スフォルツァが残してくれた遺産は今もデザイナー、若い才能、起業家たちを刺激し続けています。サローネはフィエラ会場のホール24にて、ダ・ヴィンチによって繁栄したデザイン文化とその実行力を称え、「DE-SIGNO | デ-シーニョ レオナルドが残したイタリアデザイン文化」をミラノ出身の俳優ディエゴ・アバタントゥオーノのナレーションで、ルネサンスが生んだ天才と、現代のイタリアデザインとの関係を語ります。

【ミラノ・スカラ座財団と3年間提携】

ミラノと更に深く結びつき、アイデア、文化、創造性において交流を図るため、ミラノサローネはミラノ・スカラ座財団と3年間の契約を結びました。3年後の2021年はミラノサローネが60周年を迎えます。共通の価値観を共有したいという願いが叶い、交響楽団の才能の促進と同時に、毎年開催されるサローネのデザインコミュニティとの絆を深めていきます。一年目の今年、サローネはコンサートを開催します。ミラノ・スカラ座の音楽総監督、リッカルド・シャイー指揮によるモDESTO・ムソルグスキー作曲、モーリス・ラヴェル編曲の「展覧会の絵」が演奏されます。

Salone del Mobile.Milano/ミラノサローネ国際家具見本市は、今年も会期終盤の**4月12日(金)**市庁舎マリーノ宮にてパーティーを開催予定、デザインの祭典の1週間にミラノを世界で最も魅力的な場にするため貢献してくれた**企業、デザイナー、全ての関係者**と、生産的で組織的な**素晴らしい功績**を称賛します。

スカラ座から市庁舎のあるスカラ座広場まで、新しいデザインを生み出すミラノの街と、その文化、そこに住む人々の生活の質を向上するプロジェクト、**MinAmo** をミラノサローネはサポートします。

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR 山本幸 yuki@milanosalone.cm

Salone del Mobile.Milano Press Office :

Marva Griffin Wilshire – Patrizia Malfatti press@salonemilano.it